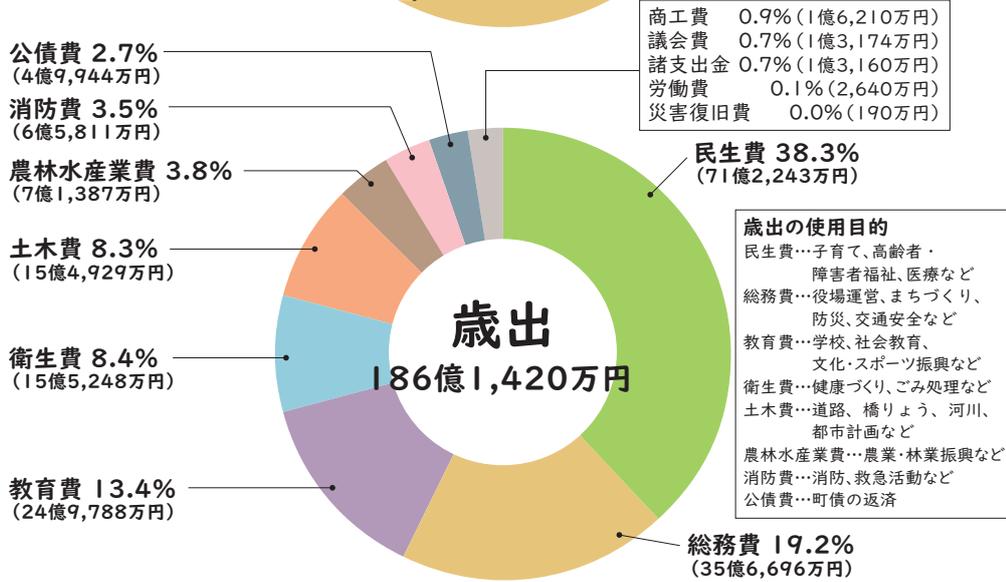
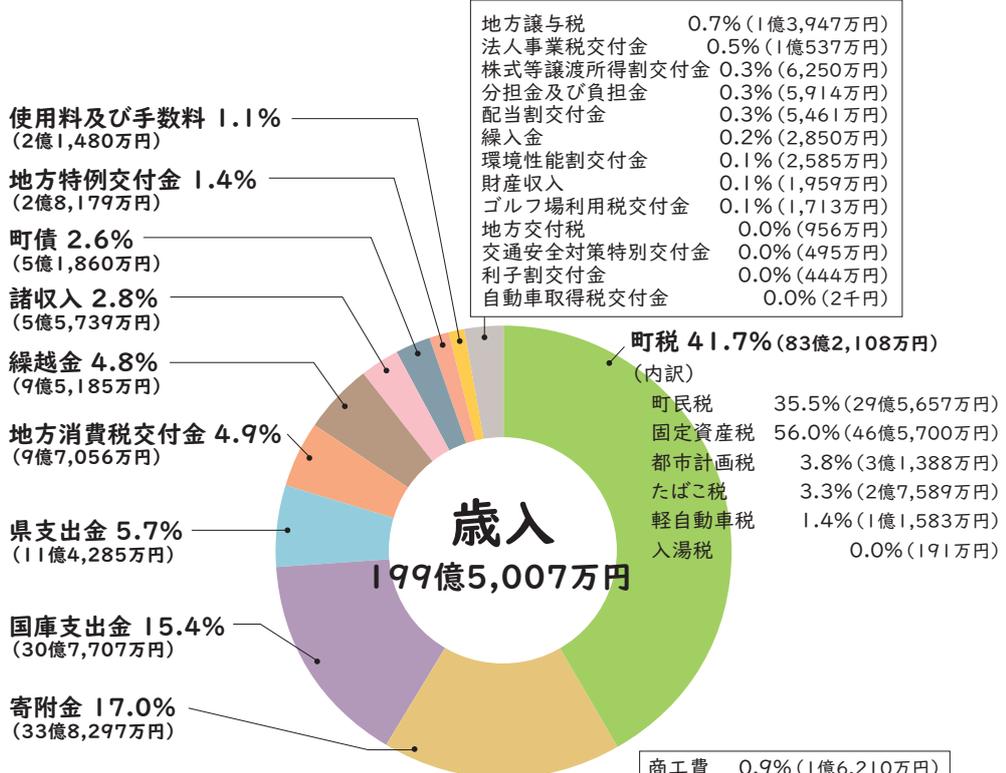


一般会計

令和3年度 決算報告と町の財政状況



令和3年度の決算の概要と町の財政状況について、「えこたんの解説」を交えてお知らせします。

令和3年度は令和2年度に引き続いて、新型コロナウイルス感染症のまん延が、みんなの暮らしにとっても大きく影響した年だったね。町では国・県からの補助金収入や貯金（基金）を使いながら、新型コロナウイルススワクチン接種や子育て世帯の支援、町内23区への感染症対策物品購入補助など、多くの感染症対策が取り組まれたんだ。

コロナ禍で大変な状況が続いた1年だったけど、一般会計では住民広場や生活道路が着々と整備され、新しく「古民館o.g.i.」や役場にカフェがオープンしたり、ロケ誘致などが行われたよ。コロナで暗い気持ちになりがちなのを抜けて出して、これからの毎日をワクワクして過ごしていけるように、いろいろな事業が進められたんだね。

一般会計のほかには、6つの特別会計と2つの公営企業会計があるよ。特別会計は、特定の事業のために財布を分けて管理する会計なんだって。公営企業会計は水道事業会計と下水道事業会計のことで、町の水道事業と下水道事業はここで運営されているよ。町の大事なお金はみんなの安心した暮らしのためにこうして役立てられているんだなあ。

えこたんの解説



決算状況

会計名		歳入(a)	歳出(b)	差額(a)-(b)	
一	一般会計	199億5,007万円	186億1,420万円	13億3,587万円	
特別会計	土地取得特別会計	2億5,916万円	2億1,996万円	3,920万円	
	国民健康保険特別会計	32億5,083万円	32億4,408万円	675万円	
	後期高齢者医療特別会計	4億8,367万円	4億8,301万円	66万円	
	介護保険特別会計	21億8,568万円	21億3,059万円	5,509万円	
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	1億9,798万円	1億9,358万円	440万円	
	農業集落排水事業特別会計	3億6,315万円	3億6,315万円	0万円	
公営企業会計 (税抜き)	水道事業会計	収益的収支	8億898万円	6億4,845万円	1億6,053万円
		資本的収支	7,130万円	3億990万円	▲2億3,860万円
	下水道事業会計	収益的収支	6億3,508万円	6億3,214万円	294万円
		資本的収支	3億1,204万円	3億7,637万円	▲6,433万円
総合計		285億1,794万円	272億1,543万円	13億251万円	

目的税と交付金・譲与金の使い道

*「充当額」とは、その目的のために使った金額のことをいいます。

都市計画税

目的	事業費	充当額
道路新設改良	5,478万円	2,194万円
土地区画整理	1億4,199万円	1億12万円
公共下水道	2億7,200万円	1億9,182万円
合計	4億6,877万円	3億1,388万円

地方消費税交付金（社会保障財源分）

目的	事業費	充当額
社会福祉	32億9,177万円	2億5,834万円
児童福祉	38億3,014万円	2億1,461万円
保健衛生	9億1,871万円	6,658万円
合計	80億4,062万円	5億3,953万円

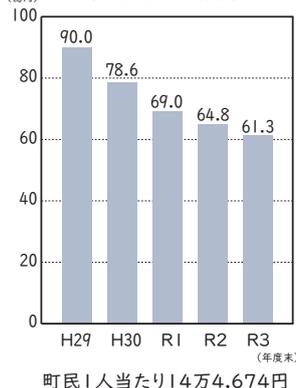
入湯税

目的	事業費	充当額
観光	2,649万円	191万円

森林環境譲与税譲与金

目的	事業費	充当額
林道整備	610万円	509万円

町債残高の推移
(全会計の合計額)



借金(町債)の残高は61億2,998万円です。道路や学校などの長期間利用する施設を造るときには、一度に多額のお金が必要です。このお金を関係機関から借りて財源とするのが町債です。町債は町の借金ですが、これを適切に活用することで、建設負担を現世代と将来利用する世代とで公平に分け合うことができま

基金残高の推移
(全会計の合計額)



令和3年度末の貯金(基金)の残高は47億8,724万円です。町では、大幅な税収減や災害などに備える「財政調整基金(約24億9,012万円)をはじめ9つの基金を積み立てています。

貯金と借金

財政状況を家計に例えてみると？

収入

給料(町税など)	31万9,448円
親からの援助 (国・県支出金など)	13万9,155円
ローン(町債)	1万2,240円
合計	47万843円

支出

食費(人件費)	9万216円
医療費(扶助費)	9万2,480円
ローン返済(公債費)	1万1,787円
光熱水費(物件費)	9万3,740円
自宅の修繕(維持補修費)	8,333円
町内会費や募金(補助費等)	4万4,866円
貯金(積立金)	5,750円
投資や運用 (投資及び出資金、貸付金)	7,765円
仕送り(繰出金)	2万3,682円
自宅の増改築 (普通建設、災害復旧費)	6万697円
来季に支払うお金(繰越明許)	2,879円
繰越金(実質収支)	2万8,648円
合計	47万843円

令和3年度の一般会計決算額について町民1人当たりの金額を計算し、皆さんになじみやすい家計項目に例えてみたよ。

家計と町の財政ではお金の使い方も規模も違うから単純には比べられないけど、こうして眺めると感じがつかめるね。

幸田町がもっともってすてきなまちになるように、将来のこともよく考えてお金を使うことが重要だよ。

えこたんの解説



健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、町の令和3年度決算に基づく「健全化判断比率」と「資金不足比率」をお知らせします。

4つの指標で厳しくチェック 健全化判断比率

健全化判断比率とは、町の財政が健全に運営できているかを判断する指標です。4つの指標が1つでも基準値を超えた場合はイエローカード「早期健全化団体」となり、財政状況を改善するための計画を作らなければなりません。町は、いずれの指標も基準値を下回りました。

4つの指標	健全化判断比率	基準値
実質赤字比率	—	13.41%
連結実質赤字比率	—	18.41%
実質公債費比率	0.6%	25.0%
将来負担比率	—	350.0%

*「—」の項目は黒字のため、数値が計上されていません。

赤字はありませんか 資金不足比率

「資金不足比率」は、公営企業会計における料金収入に対する資金不足額(赤字額)を確認する指標です。基準値を超えた場合は、経営を健全にするための計画を作らなければなりません。町には、資金不足を生じた公営企業会計はありませんでした。

公営企業会計	資金不足比率	基準値
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	20.0%

*「—」の項目は黒字のため、数値が計上されていません。

えこたんの解説



町は法律の基準を全部クリアしたよ。これからも健全な財政を心掛けていかなくっちゃね。

決算審査報告

幸田町監査委員

山下 千代子
やました ちよこ

決算審査に付された各会計歳入歳出決算書などは、いずれも関係法令などに準拠し作成され、その計数は正確で、予算の執行は概ね適正と認められた。

令和3年度決算では、町税全体で減収するも、ふるさと寄附金は、積極的な取り組みにより前年度を上回った。財政指標の健全化判断比率などは健全な数値と認められた。不確実な面のある歳入財源、各種事業費など歳出の増加要因から、今後も予算を許さない状況が続くと思われる。事業目的や目標への的確な予算配分などを含め、適正な公金支出に心掛け、町の発展、より良い行政サービスのため、一層の職務に精励されたい。

令和3年度の主な事業

町民の皆さんの未来につながる暮らしやすいまちづくりに取り組みました



町道北広畑天上坂1号線 道路改良事業



新型コロナウイルスワクチン予防接種



鷲田住民広場整備



空き家利活用事業（古民館ogi）



特産筆柿産地持続化支援事業



新生児特別給付金 新生児おむつ等購入補助

問合せ 財政課 財政グループ ☎(0564)62-1111(内線324) FAX(0564)63-5139